



若鮎まつりPR(初のTシャツ特別委員会)

7月臨時会、9月定例会概要	2P
議案審議	3～4P
決算概要、監査意見書	5P
決算審査	6～9P
一般質問、一般質問のゆくえ、委員会活動	10～14P
町民の声、請願・陳情	15P
えがったなあ、編集後記	16P

第5・6回臨時会
7月6日・29日
9月定例会
3日～10日

平成20年度決算を認定

総額 59億9375万円

9月定例会は3日から10日までの8日間の会期で開催されました。
一般質問に続き、一般会計、特別会計の補正予算を原案どおり可決しました。
20年度決算については特別委員会を設置し、本会議において認定しました。

主な付議事件

7月6日臨時会
一般会計・特別会計補正予算

7月29日臨時会
一般会計補正予算

若あゆ温泉第2源泉及び配管等設備に係る財産購入事業契約
ロータリー除雪車の取得に係る物件購入契約の締結

9月定例会

一般会計・特別会計補正予算
舟形町児童館設置条例の一部を改正する条例の制定(舟形児童館廃止)
子育て支援住宅新築工事請負契約の締結(丸充建設(株)落札)

主な事業

プレミアム商品券第2弾発行 410万円
子育て支援住宅二号棟新築 7762万円

9月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	17,700万円	376,743万円
特別会計		
国民健康保険	4,350万円	66,650万円
介護保険	2,800万円	64,690万円
簡易水道	710万円	23,110万円
農業集落排水	180万円	35,580万円
公共下水道	70万円	16,570万円

質 答 心 疑

臨時会

一般会計の補正予算

議員 町長が提言する、耕作放棄地の解消のための農地・水路整備をどう進めるのか。

振興課長 今回は当初の計画ではなく、要望された箇所を補正で対応します。今後は担い手協議会で耕作放棄地の実態、その改善策等、計画を立てて進んでいく必要があると考えています。



解消が望まれる耕作放棄地

議員 予防接種事業の中に、6月定例会で町へ要望した高齢者の肺炎球菌ワクチンの予算は入っていないのか。緊急の国の補助金ということで今回が良いチャンスではなかったのか。

町民課長 今回は財源の変更のみで肺炎球菌ワクチンの予算はみていません。9月補正で予算を要求し確保したい考えです。

議員 地域活性化・経済危機対策臨時交付金1億8,700万円強のお金で地元にとだけだけの経済効果を期待しているのか。

副町長 各課から上がってきた事業の中から選択し、町内の企業等に分配したつもりです。商業関係は、今回も事業費で410万円のプレミアム商品券事業を実施し商店関係の経済効果を期待しています。

若あゆ温泉第2源泉購入事業

議員 大広間の利用者が少ないために町に入る入湯税が少ないという話も聞いているが、利用券350円の中に入湯税を取るような形にできないのか。

まちづくり課長 部屋利用代200円の中から入湯税として75円を頂いており、それは町に入りますが、これを入浴料の350円から捻出しますと指定管理者として赤字になってしまいます。日帰り温泉は入湯税を頂かなくてもよいということもあり、入浴だけの方は入湯税を頂いておりません。350円の入浴料に入湯税75円をプラスして425円を頂かないと運営が厳しくなるという状況になりますので、もう少し検討していかなければならないと思います。



第2源泉開湯記念式典(若あゆ温泉)

議員 今回の温泉掘削は1401m地下を掘っており、その地質の資料はかなり貴重なものと思うが、8月8日のオープン時に、温泉を掘ったときの資料を展示できないか。

まちづくり課長 展示するように、検討させていただきます。

議員 乾燥調製施設等リニユーアル対策緊急特別支援事業費補助金の内容は。

振興課長 県で以前に整備したライスセンターが補助の対象になります。農協のライスセンター、福寿野のミニライスセンター、長沢のライスセンター、沖の原機械利用組合のライスセンターが対象になりますが、今回要望があったのは農協のライスセンターです。設置年数が長くなっているため、長寿命化を図るため県の補助金を充当します。

定例会

一般会計補正予算

議員 ナラ枯れの調査と防除方法、被害木を活用する考えはあるのか。

振興課長 若あゆ温泉エリア約4haの被害木、60本を伐採し、ゴルフ場エリアも調査しています。全町的なナラ枯れの調査は、9月中旬に山形県、振興課職員、林野庁の最上署の職員で現地調査を行い、調査結果をみて対応できるもの、今後計画的にしなければならぬものを、県、国と協議して進めていきます。被害木の本数が多くなっているので、処理や利用が難しい現状ですが、被害木の燃料化を考えています。



ナラ枯れの現地調査

議員 肺炎球菌ワクチン予防接種に対する議会の要望が通ったと理解しているが、町の対応は。

町民課長 接種料金7,000円の半額を助成します。対象者は75才以上で150人分です。肺炎は高齢者の死因の4番目に多い病気で、インフルエンザの予防接種と併用すると、死亡リスクを8割減らすことができます。

高齢者がインフルエンザにかかると最も懸念されるのが肺炎の併発で、肺炎球菌ワクチンを接種することによって、肺炎球菌が要因となって起こすような病気を予防してくれるので、かなり効果があると考えています。

議員 ウツシカワ工場についての情報は、町長、副町長が新庄の工業団地を訪問し職を斡旋すべきではないか。

まちづくり課長 83の方が雇用されていて、おおむね町在住の方です。8月末まで8割の方を解雇し、今作っているものを仕上げて、9月中旬くらいに従業員を解雇し、最終的には10月をめどに撤退をするということです。8月末で解雇された方に対して9月2日にハローワークが向いて相談、手続きを行っているという聞いています。

社長の考えとしては、第1に売却、第2に貸付をしたいということで、県のホームページに載せて募集を図っています。

昨年12月22日に雇用の対策本部、相談窓口をまちづくり課に設置しています。

副町長 工業団地訪問については、検討しますが、一番の情報を持っているハローワークとの連携を密にし、雇用の確保に努めたいと考えています。



解体予定の舟形消防分署

議員 最上広域統合消防署建設の業者の選定などは、最上広域ですべて行うのか。地元業者を選定できないのか。

振興課長 事業主体は、最上広域になっているので、入札等に関する作業はすべて最上広域で行っています。9月11日に入札を行い、28日に安全祈願祭を行いたいとの連絡が入っています。

議員 統合後の舟形消防分署をどう利用するのか。

総務課長 最上広域と解体する方向で話をしています。交差点付近の安全面にも配慮し、安全に解体し、駐車場として利用したい考えです。なるべく舟形町の業者ができるように最上広域と協議しています。

緊急経済雇用対策を検証



叶内 富夫 委員長

文教民生常任委員長を選任し、一般会計、7特別会計を慎重に審査し、満場一致で承認しました。

平成20年度決算審査は会期中9月6日から9日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に叶内富夫総務振興常任委員長、副委員長に野尻益夫委員長、副委員長に野尻益夫

特別会計 (単位:円)

Table with 3 columns: 会計別, 歳入額, 歳出額. Rows include 国民健康保険, 老人保健, 後期高齢者医療, etc.



佐藤代表監査委員

監査意見書

決算関係書類を審査した結果、決算計数は適正であると認めます。

また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は適正にされており、かつ各項目とも基準を下回っており財政は健全であると認めます。

町税は2.2%、地方交付税は4.7%増加しているが、不況が深刻化しており、将来展望がなく、今後も財政運営には引き続き慎重を期されたい。

町税、使用料などの滞納、未納が多額になっており、極めて憂慮される状況にある。善良なる一般市民との公平、平等を欠くことにもなるので、今後も回収に努力されたい。

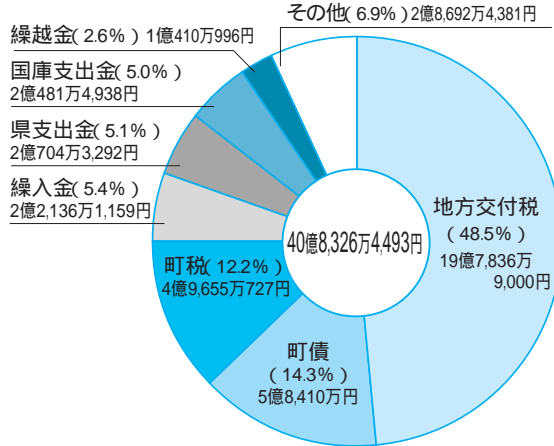
今年度は、舟形小学校跡地を利用した、子育て支援住宅の建設と宅地の造成、光ファイバ事業など若者が定住する事業に積極的に取り組んでいる。

また、人件費をはじめ、経費の削減に努力されており、その成果が随所に見られる。

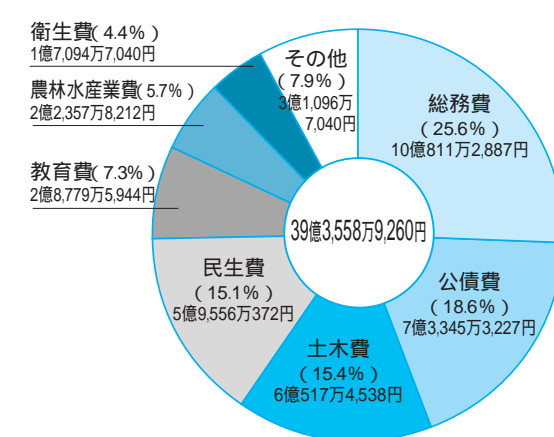
今後も住民福祉の向上と町民サービス、事務事業の改善など鋭意努力されることを要望する。

一般会計

歳入 (40億8,326万4,493円)



歳出 (39億3,558万9,260円)



歳入歳出差引額 1億4,767万5,233円

決算審査特別委員会

質 答 心 疑

一般会計

歳入

議員 町税の不納欠損が昨年度126万618円でしたが、今年度は、460万4000円と3.5倍に膨れ上がっているが、今後の対策は。

町民課長 平成15年度の課税分を中心にして不納欠損しています。固定資産税は、協和パーツの社員寮の分です。既に倒産しているが、登記簿上会社が存在している状況で、建物があるので毎年課税をしなければならず、不納欠損処分をせざるをえません。建物は会社のもので、土地は個人のものでということ、以前競売に掛けたが落札者がいなかった経緯から、費用対効果を考えると差し押さえができない状況で、回収見込みがないため過年度6年分を一括処分したために金額が多くなりました。不況ということで自営業の方では、仕事がないということで厳しい現状です。6月1日現在で滞納解消した世帯が20世帯あります。不納欠

議員 小国川漁業組合へ委託料として2100万円支出しているが、その内容と今後の取り組みは。

振興課長 水質、水量、成分、特に鉄分が入るとよくないので、水質調査費に183万円、稚鮎放流190万円、新しい井戸を掘削した工事請負費に1700万円です。

町長 舟形町は若鮎と古代ロマンの里として、鮎が大きなイメージになっている。産業振興推進本部を立ち上げ、漁協、農協、商工会、観光協会がひとつの輪になり、観光産業を中心に進めていきたいと思えます。



鮎の中間施設

損は、いろんな調査や本人に確認して対応していますが、どうしても回収できないものは不納欠損にせざるを得ません。県の指導でも回収できないものは不納欠損でするように言われています。

収納対策室長 4年目を経過し、どういう方法がよいのか検討した結果、専門的な知識がいることから、今年度は、班編成でするよりも担当課で行ったほうがよいのではということで行っています。



売却したスノーモービル

議員 合併浄化槽の整備状況は、今後予定されている整備の全体数は。

振興課長 対象地区は、大平、太折、西又、松橋など19地区で、132戸。そのうち56戸が整備されていて、残りの76戸は、一人暮らしの方や高齢者世帯の方もいますので、補助事業等も十分に活用して整備促進に努めていきます。

議員 みどり環境税として県にどのくらい納めているのか。林道、作業道はいたんでいるところが多く、活用方法を見直すべきではないか。

総務課長 町の対象者は2,570人なので、257万円です。林道等の管理について個人で重機を借りて農道の整備等ができるように再三お願いしてきましたが、この事業では対応できないと回答をもらっています。

議員 弱者の方も投票できる対応策として、各区の公民館等を期日前投票所にできないのか。

総務課長 期日前投票の管理者、立会人等も必要になり、今の選挙管理委員会の数では足りなく、当然経費もかかりますので今の段階ではできないと考えています。

議員 シルバー人材センターの会員は町内に何人いるか。町独自で設置はできないのか。

町民課長 現在50人です。シルバー人材センターへの補助金も減っているので町独自では難しいです。

歳出

議員 スノーモービルの売払い収入について、どうやって売ったのか。

まちづくり課長 観光担当課で所有している猿羽根山のスキー場のスノーモービルを、一般競争入札で払い下げをしました。

議員 時間外について、時代の流れでいくら業務が増えたからといって毎年100万円ずつ増え続けているのは如何なものか。

総務課長 職員数も毎年削減され、新しい事業が増えているため、町長からの特命以外は時間外が多くなったと思います。時間内で対応していくという基本的な原則にたって対応していきたいと思えます。

議員 職員研修について、全国地域リーダー養成講座という中央研修に今年度予定がないと聞いたが。

総務課長 3年連続して中央研修に参加しています。他の市町村ではこの研修に参加していないところも多くあり、3年間の研修を検証しさらに必要とあれば検討します。



中山間支払い制度による工事

議員 中山間直接支払い制度と農地・水・環境保全向上対策はあと1年、2年で終わるが、終了後の継続は。

振興課長 中山間直接支払い制度は、21年度で一応終了の予定ですが、今後5年スパンではなく、一つの制度として引き続き対応していきたいという国の考えです。農地・水・環境は、23年度までになっていますが、多くの市町村が継続を望んでいる事業なので、町も要望していきます。

議員 向屋むかいや、町で大イベントを行う十二河原地区をきれいにする事で、堆積している土砂をとる考えは。

振興課長 向屋むかいは県の担当なので、秋口の鮎ンズンが終わり、影響がない時点で浚渫するように進めています。また、鮎まつりの会場は、県へ浚渫をぜひお願いしたいと要望しました。

議員 各町内でボランティアで年2回町道の草刈をしている。今回町で草刈をしたのはなぜか。

振興課長 今年度は雇用促進事業をあてて、基本的に草の生えているところをお願いしました。



町内会の草刈ボランティア

議員 中学校用地の借上げ料があるが、この土地を売ってくれる可能性はあるのか。

副町長 近傍類似価格での積算では5億8000万円ぐらいになると思います。今の賃借料が住宅用地も合わせて540万円ぐらいなので、どちらが良いか考える余地があると思います。

議員 前に田植え踊りに対して、5万円の補助があったが、今は、3万円になっているのはなぜか。また、増やす考えはないのか。

教育次長 盆踊りや田植え踊りは、定額の運営費の補助金なので、3万円と決まっています。育成補助金については、自分達で活動できるようにすれば補助金はある程度カットしていくという考えです。

特別会計

介護保険事業

議員 介護従事者処遇改善臨時積立金の使い道について、最終的な基金積み立て金の使い道は。

町民課長 介護従事者の報酬が3%アップになると、その分が介護保険料に跳ね返ってきますので、2力年分をこの基金の方から充当し、保険料に当てます。

議員 地域商品券の発行で地域活性化を図るといふ事業で、他の市町村では、病院や薬局でも使えて喜んでいる住民の方の姿がテレビで紹介されていた。舟形町ではこのような使い道はできないのか。また、この検討はなされたのか。

まちづくり課長 町内の消費拡大を目標に発行しています。商工会の事業として位置づけているため、病院薬局は考慮していません。

議員 子育て支援住宅の大地熱融雪の成果は。一般の住宅に大地熱を導入するために、コストを下げることができないのか。

振興課長 昨年建てた住宅では、雪が少なく、正確なデータがとれていません。屋根の部分は有効的に消費できますが、駐車場部分はまだ課題が残るようです。また、コストの面ではまだ把握していません。

議員 介護従事者の処遇改善の対策は。直接従事者の報酬に反映されるのか。

町民課長 介護職員一人当たり、月1万5千円の賃上げ相当額が見込まれています。10月から2年半の期限措置で賃金アップを事業所が必ず行うことが条件で、申請を受けて基金から支払います。

簡易水道事業

議員 収入未済額736万6千円とあるが、回収不能と思われるもの6件64万円、平成15年以前の滞納者、破産者、地区外に転出した方もいるので、不納整理はできないのか。

振興課長 700万円の内訳は、水道使用料69人延べ257カ月104万2千円、滞納分は平成15年から19年59人延べ1,427カ月で、滞納者は給水停止の通知や督促などを行い、徴収に努めています。昨年11件2日間の給水停止を実施しました。指摘のあった6件は、監査委員の指摘・指導もあり、適切に履行していくことで健全な財政運営につながりますので、適切に処置していきます。

農業集落排水事業

議員 流末処理場の汚泥を肥料化した「コンポスト」が順調に売れていると聞いているが、現在の状況は。



垂れ幕が下がるよう願う役場庁舎

議員 中学生が全国大会に出場する場合、今までは役場に垂れ幕をしていたが、この頃は下がっていないのは予算の関係か。

教育長 補助金等の見直しの作業に入るので、総合的に検討したいです。

議員 中学校管理費で、照明施設の改修工事と青少年スポーツ文化活動支援事業費の内容は。中学校の部活が縮小傾向にあり、スポーツ振興に影響が出てくると考えますが今後の振興策は。

教育次長 各教室の光度を上げるための蛍光灯の増設です。クラブ活動8クラブに10万円程度、19年度から21年度まで、限定的に出している補助金です。今後、生徒数の減少に伴い教員が減る可能性もあり、来年度以降のクラブ活動の推移を見ながら検討していきます。

振興課長 20年度は900袋完売しており、当初の予定販売数に達しています。今年度は注文数に間に合わず、生産に努力しています。今年度は1,000袋ぐらいいは売りたいと思っています。



完売したコンポスト（堀内美水センター）

公共下水道事業

議員 独立採算を維持していくため、加入率の上で事業収入の確保が必要と思われるが、加入促進を図るためにどのような対策をとっているのか。

振興課長 現在71%の加入率ですが、今後加入者の拡大を図っていきます。料金の見直しも図り、企業会計の導入も視野に入れ具体的な対策は広報等の中で町民にお知らせします。今後、加入促進に向けて、対応策や普及・啓蒙活動を強めていきます。



加藤憲彦 議員

異常気象による災害は大丈夫か 時代に合った安全な施設を



光生園の全景

【質問】 新聞等で気象庁は、南米ペルー沖で海面水温が上がり異常気象の原因となるエルニーニョ現象が継続中で、冬まで持続する可能性が高いという8月10日監視速報を発表したとあります。東北の梅雨明けが無く7月21日には山口県に豪雨、8月9日には岡山県に豪雨、そして群馬県に竜巻、まさに異常気象であります。7

月21日の山口県防府市の記録的な豪雨は、土石流となり特別養護老人ホーム「ライフ・ケア・高砂」を襲い食事中の年寄りを泥水が押しよせ、大きな被害が発生しました。舟形町の光生園はどうですか。すぐ裏に山が有り、築35年近くになります。町としては、近い将来どのような考えがあるのか、お聞きします。

【町長】 障害者支援施設光生園は、昭和49年に建築、今年で満35年になります。耐震工事対象の施設となっております。町でも7月10日に町民課長と福祉班長が光生園を訪問し、耐震工事及び移転改築に係る助成制度並びに町内で地震等の災害が発生した場合に、在宅の重度身体障害者の避難場所となることも説明してきております。光生園の理事長は、「施設整備の必要性を感じている。近い将来、時代に合った施設の整備を考えていきたい」とのことでした。今後は、理事会・評議員会に諮っていくことでありました。町としては、舟和会で、施設整備の意向が決定されれば、国、県に要望し、早期に施設整備が出来るように努力して参ります。そして、利用者の皆さんが、安全で安心して生活できるように努めて参りたいと考えております。

【質問】 今、雇用問題で働く場所が無く、光生園等の福祉施設は、町一番の職場で有ります。町としても福祉関係のさらなる雇用の拡大を図る考えはないのかお聞きします。

【町長】 今年度はご案内のように、舟和会で、おおむね20名の採用を予定しており、年齢も60歳までと幅広い要件としております。今後、介護老人福祉施設を整備すれば、雇用の拡大になりますが、反面介護保険料に跳ね返ることになり、高齢者の負担にもなります。しかし、在宅介護には限界もあり、待機者も常時60名程度おります。施設入所を望む町民も多い現状をふまえ、今後、町民のニーズをとらえ、南部保育所を活用した、地域密着型の特養ホーム、定員15名程度の施設整備を23年度以降に事業者と検討していきたいと考えており、整備となれば10人以上の雇用創出が生まれるのではないかと考えております。



大場清之 議員



おかひじきの栽培

【質問】 町長が昨年からはじめられた農業推進機構は町の活性化をはかるためには農業の振興が不可欠として、農業所得500万円をめざし努力しているところですが、

3名の指導員の方の助言を戴きながら紅大豆、行者にんにく、おかひじき等栽培をして順調に推移したかと思っております。昨年は紅大豆の豆腐を作り試食までして今年こそ町の特産品として、また目玉商品として売りだして行けるだろうと期待もして参りましたが、どのように進展していますか。

【町長】 紅大豆の取り組みは今年で2年目を迎えますが、昨年は30aの作付けを行い、豆腐や納豆の材料として利用し、試食会や観光イベントの参加者に試食、PRを行いました。今年も種子の増量のために町内二か所、約1haに作付けしています。大豆は、日本の食文化にとつて欠かせないものですが、転作物物とした場合、生産組織を作ることや4ha以上農地を集めること、2ha以上の作業の受託することなどが条件となっております。結果として、農業用機械のフル装備が求められます。ソバも同様ですが、当町の場合、この条件を満たす組織として一団体だけとなっております。今後、大豆やそばの拡大を図るためにも複数の組織の活動が求められます。しかし、設立のためには、組織の中心となる農家や参加する農家の方々の

理解や意識の向上、あるいは、新たな機械整備などの課題解決も必要となってきます。農業委員会の調査では、18haが集落営農への参加を希望しています。現在町では、中山間直接支払いや担い手農家を対象とした新規農業用機械導入への支援、農作業の効率化を図るための農地のあつ旋事業などをすすめています。更に、重点施策として農地(団地)を中心とした農業の展開も必要です。そのためにも、今後の農業経営や農地の在り方など中山間直接支払いの集落協定などに明文化されている内容を更に、地域の話し合いの中で具体化し、その過程の中で機械利用組合の設立や集落営農の取り組みをすすめていくことが必要です。そのためにも関係機関と一緒に町も支援してまいります。

活気あふれる農業推進機構について

新規農業用機械の支援



沼澤正則 議員

エネルギー構想の構築で経済危機脱出を

省エネや新エネ対策に対応

【質問】 昨年9月の総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会の緊急提言に、太陽光社会の実現、水素社会の構築を目指す、太陽光発電や次世代自動車、燃料電池



水素ガス等複合燃料供給機試作品（国際水素・燃料電池展2008）

池等がある新エネルギーの実現、新エネ関連産業を日本基幹産業にするとあります。堀雅夫先生が座長を務められた地域エネルギー供給構想分科会の資料には、クリーンエネルギー導入が町おこしへの期待と環境負荷の低減につながることを指摘されています。堀雅夫先生は、沖の原を開拓した堀卯三郎氏のお孫さんで、生誕百年祭に来町くださったことは、百年の時を越えた運命を感じます。堀先生の講演会を町内で行い、舟形町エネルギー構想構築について、アドバイスをいただくのがよいと考えます。国のエネルギー政策に先導的自治体として協力することが、現在の厳しい経済状況を打開する有効な手段と考えますが、いかがですか。

【町長】 地球上に生活する上で、エネルギー問題や環境問題を考えることは、私達に与えられた大きな責任であります。

人類の歴史と共に、エネルギーの変遷の歴史を正しく認識し、未来の確かなエネルギーを次世代に伝えていくことが、私達に課せられた大きな課題でもありません。

産業革命を契機に、石炭から石油エネルギーの比重が高まり、今日では地球温暖化という反動が、社会全体を覆い、未来社会は大きな岐路に立たされています。

日本の文化の源に「自然との共生」という崇高な理念があります。高度経済成長の環境破壊を大きな反省として、「環境との調和」を基調に置き、戦後半世紀で世界有数の経済大国に発展しました。

これからの世界は「低炭

素社会」に向かわざるを得ません。日本人が大切にしている「もったいない」精神と省エネ先進国として、京都議定書の目標達成に向け、世界をリードしていく大きな役割を担っていると思います。

具体的に国が推進している新エネルギーの紹介がありました。自然エネルギーの活用や、化学反応を利用した発電装置などの多岐に亘る新しいエネルギーの研究や開発実験は、将来のエネルギー政策に大きな影響と可能性を与えるものと思います。

町では来年、「公共施設省エネ・グリーン化推進事業」を実施し、庁舎内の節電を図りCO2の削減に取り組むこととしています。今後も出来ることから、省エネや新エネ対策に対応していきます。

シリーズ

一般質問のゆぐえ

平成19年9月定例会

質問

大雨による水害防止対策に、十二河原河川公園前から鉄橋間の推積物の除去を。

答弁

近年異常気象が続く予測できない被害が心配されます。寺下地区の夫婦川は小国川の支流であり、小国川が増水すると被害に見舞われますので、十二河原公園前から鉄橋間の推積物の除去を、国、県に強くお願いしているところです。

現状

小国川漁協の協力で、小国川に堆積した土砂を県から除去していただいています。平成19年度は1500、平成20年度3500、平成21年度も除去していただく予定です。県の予算もあり、一度に全部は除去できませんが、水害防止、町民の安全のため県と連携して一刻も早く除去できるよう努めていきます。

活気あるまちづくり調査特別委員会

第2回特別委員会（7/22）

「活気あるまちづくりの課題と今後の方向」（最上総合支庁長 阿部憲明氏の講演）

これからのまちづくりについて、現下の社会経済状況

社会経済の基盤となる交通網の整備状況、少子高齢化社会の推移や、県、市町村の産業構造の現状などを分析した内容でありました。

まちづくりの基本方向
地方行政が住民との協働による「依存型から自立型」へと変化し、「均衡ある発展」から「オンリーワン地域」を目指す脱従来型の傾向にあるためにイメージとして「芝居の創造」的な地域づくりがまちづくりの基本として必要とのことでした。

まちづくりの視点
よく言われる集落機能の低下を見直し、安全・安心・安定的な生活を維持していく地域の経営をめざして、行政、住民の意識改革と人材育成、地域資源や雪、鮎などを活用した「グローバル産業」の創出が必要となるとのことでした。
最後に、「めどが立つてはじめて計画」との話があり、施策立案の基本を再認識させられた感じでありました。

第3回特別委員会（8/22）

「最上町第6次基本構想の策定」

議会として策定の段階においてどのように係わるかの方向性を見出すため、担当課の出席を求め、基本構想の策定について現在の進捗状況と今後の策定スケジュールについての説明を受け、議会としての対応を協議しました。

町当局より、

（1）「第6次舟形町総合発展計画」を標題とする基本構想の策定についての必要性や計画の性格、構成、

期間などについて

（2）策定スケジュールにおける業務分担と策定委員会の開催、町内会との意見交換会の開催やまちづくり審議会での策定協議の日程

（3）第5次基本構想の検証

（4）町民に対する基本構想アンケート調査の回答状況についての説明があり、現段階ではまだ策定の準備段階にあるとのことでした。

質疑の中で、委員からは策定スケジュールを見る限りは議会への提示は一通りの策定作業が終わってからは如何なものかとの声が多く、他市町村においては議員が企画審議委員として企画の段階から策定に参画している例もあり原案の編集策定の段階において、参画の機会を設けてほしい旨の要望をしました。



阿部最上総合支庁長の講演

文教民生常任委員会

9月3日、町内小学校の教育環境の在り方について、太田教育委員長、大場職務代理、伊藤教育長、高橋次長の出席のもと、文教民生常任委員との懇談会を開き、次のように説明していただきました。

小中学校の新型インフルエンザの状況について、小学校では5年生1学級が学級閉鎖、中学校でも1学年が県の指導基準に基づき学年閉鎖しているとのことでした。

教育環境の在り方については、少子化と統合との関連で説明を受けました。

8月27日から3日間の日程で保育園保護者との懇談会を開催したが、出席者が少なく、保護者の声を聞くことができなかったとのことでした。小学校統合についてはまだまだ不安と、今後の町のビジョンが分からないという声があったとのことでした。ただ統合に絶対反対という声はなかったようでした。



町内小学校の授業参観風景

今後は小学校の保護者と学校ごとに9月中旬に懇談会を実施する予定とのことでした。

文教民生常任委員会としては、4校統合は保護者の声を尊重しつつ、十分に話し合いを進めることを要望しました。

全員協議会

平成21年第8回全員協議会（6/30）
 町営バスの事故報告、平成21年度地域活性化・経済危機対策実施計画・公共投資交付金実施計画、子育て支援住宅新築などの概要について説明がありました。地域活性化計画に伴う予算は、第5回臨時議会で審議がなされました。

平成21年第9回全員協議会（7/6）
 小規模多機能型居宅介護及びサテライト地域密着型介護老人福祉施設、旧舟形児童館の利活用について説明がありました。

平成21年第10回全員協議会（7/22）
 舟形町誘致企業である㈱ウツシカワソーイング山形工場の閉鎖、舟形若あゆ温泉第二源泉、ひだまりタウン宅地分譲などについて説明がありました。

平成21年第11回全員協議会（8/26）
 平成20年度決算に基づく財政健全化判断比率、舟形若あゆ温泉の指定管理者について、説明がありました。

議会広報編集特別委員会

8月31日、町村議会広報コンクールにおいて、奨励賞を受賞された、新潟県聖籠町議会広報の編集方法を学ぶために研修を行いました。

1ページ当たりの単価が、当議会報の2分の1程度の安い金額でしたので驚きました。

また、議会終了後、30日前後で議会報を発行しており、編集作業の早さや、編集行程など、大変参考になりました。

研修で学んだ良いところを取り入れながら、今後も親しみやすい紙面づくりに頑張ります。



広報委員研修（新潟県聖籠町）

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どっぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

長い自民政権に終止符が打たれ、民主党に政権が変わった今、農業にも変革の風が吹いて欲しいものです。

長い間、いつかは良くなるだろうと思つてやってきた農業も、もはや限界と言つても過言ではありません。

現在、農業農政を取り巻く情勢は肥料燃料の高騰や、食品の産地偽装など、我々生産者にとって大変厳しい情勢が続いております。

そんな中で、舟形町は兼業農家が全体の90%以上を占めており、典型的な農業の町です。

また、長く続く不況により、農業は担い手不足が深刻化しています。

そして、安定した収入につながる農業が求められています。

我々認定農業者協議会も先進地研修、簿記講習会、町長との農政懇談会、各種交流会などを計画実行しています。転作に関しても100%達成しています。

そういった自覚を持ち、安心、安全な食べ物を作る農業に取り組んで行きたいと思えます。



舟形町農業委員
加藤嘉久さん
(堀内)

請 願 ・ 陳 情

9月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

私学助成関係予算の増額についての意見書提出を
 求める請願 採 択

請願者 学校法人新庄学園新庄東高等学校PTA
 会長 石川 正志

内容 父母負担の軽減および教育環境の維持のため、2010年度県予算においては、私学助成関係予算の増額を実現していきたい

今期採択した請願について県知事・県教育委員会教育長へ意見書を提出しました。

日米FTA反対、農家経営の危機打開についての
 意見書提出を求める陳情 継続審査

請願者 農民運動山形県連合会
 会長 花鳥賊 義廣

内容 日本農業を壊滅に導く日米FTA交渉はおこなわないこと。日豪FTA交渉も中止すること。

政府備蓄米をルールに基づき買い入れることについての意見書提出を求める陳情 継続審査

請願者 農民運動山形県連合会
 会長 花鳥賊 義廣

内容 米暴落を回避するため、政府が決めている備蓄米100万トンに不足する分を緊急に買い入れること。

舟形若あゆ温泉地内グラウンドゴルフ場の整備拡充に関する陳情 採 択

請願者 舟形町グラウンドゴルフ協会
 会長 高橋 久資

内容 舟形若あゆ温泉地内に8ホール2コースのグラウンドゴルフ場の早期設置を図ること。

今期採択した陳情について町へ要望をしました。



新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。

えがったなあ



どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
同じ職場で出会いました。
彼の優しくて真面目なところに惹かれました。

舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
自宅からは、山も見え、すぐ裏には最上川が流れており、自然に囲まれて、すごく癒されます。
地域の方々が、とても気さくで、よく声を掛けてくれるのが嬉しかったです。

舟形町での生活はどうですか？
祭りや盆踊りなどの地域行事に参加していくと、初めてのことはかりで楽しいです。

舟形町の良いところ・悪いところがありますか？
良いところは、自然が多いこと、また、福祉のまちとして力を入れているところ。
悪いところは、今のところ見つかりません。

舟形町に望むことはありますか？
若い世代の方々がもっともっと増えてくれればいいなと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さん、今回は最上町出身で平成20年11月に堀内に嫁いで来た加藤恵三子(旧姓佐藤)さんです。
皆さんよろしくお願ひします。

お願い

「えがったなあ」に出してみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
町役場議会事務局
TEL 0233 - 32 - 2111

編集後記

第45回衆議院議員選挙も終わり、今回の選挙に国民の関心が高く、民主党が300議席を上回り、新しい政権党に対する新たな政策の展開に期待をしたいと思っています。

9月定例会は、3日から10日までの8日間の日程で開催し、決算審査においては、決算の内容や施策など、今後の雇用対策や、税、使用料の未済額について議論が交わされました。

今回の議会だよりから少し紙面を替え、みなさんから親しみやすく、読みやすい紙面作りにしましたので、今後もご意見、ご感想をお寄せください。

また、これからは寒さも増し、体調を崩しやすい季節になります。風邪など引かないようご身体をご自愛ください。

野尻 益夫記

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 信夫 正雄 |
| 委員長 | 叶内 富夫 |
| 副委員長 | 野尻 益夫 |
| 委員 | 大場 清之 |
| | 加藤 憲彦 |
| | 沼澤 正則 |